

石本正 日本画 大賞展

第11回

全国の美術大学の優秀作品が一堂に並ぶ最大規模の学生日本画展

2026 9月12日(土)~11月23日(祝)

開館時間 / 9:00 ~ 17:00 休館日 / 月曜日 (祝日の場合は翌平日休館)

島根県 浜田市立石正美術館

出品大学

札幌大谷大学・東北芸術工科大学・金沢美術工芸大学・筑波大学・文星芸術大学・東京藝術大学・武蔵野美術大学・多摩美術大学・女子美術大学・常葉大学
名古屋芸術大学・名古屋造形大学・成安造形大学・京都市立芸術大学・京都精華大学・京都芸術大学・嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学・大阪芸術大学
奈良芸術短期大学・倉敷芸術科学大学・広島市立大学・比治山大学短期大学部・尾道市立大学・九州産業大学・大分県立芸術文化短期大学・崇城大学
沖縄県立芸術大学

28校 (予定/順不同)

審査員
(敬称略)

つちや れいいち おくむら みか にしひさまつ よしお
土屋 禮一、奥村 美佳、西久松 吉雄

観覧料 《当日券》一般 700(600)円 高校・大学生 300(240)円 小・中学生 200(160)円

※()内は20名以上の団体料金です

※上記料金で同時開催中の企画展「石本正の視点 vol.2 夢と空想—ぼくの絵をつくりあげるもの—」もご覧いただけます

お問合せ 浜田市立石正美術館(石本正 日本画大賞展 事務局) TEL.0855-32-4388

〒699-3225 島根県浜田市三隅町古市場 589 番地 FAX.0855-32-4389

HP <http://sekisho-art-museum.jp/>

敬老週間
(観覧無料)

期間: 9/15(火)~21(月・祝)

対象: 年内に満65歳以上になる方
受付で年齢確認できるもの(マイナンバー
カード、運転免許証等)をご提示ください。

石本正日本画大賞展 HP

<https://www.ishimotosho-taisho.com/>



石本正 日本画 大賞展

第11回

石本 正 -いしもと しょう- (1920-2015)

島根県那賀郡岡見村（現浜田市三隅町岡見）生まれ。独自の美を追求した鳥の連作や舞妓、裸婦の作品などで画壇の注目を集め、1971年に第21回芸術選奨文部大臣賞、更に第3回日本芸術大賞を受賞したが、以後全ての賞を辞退。創画会の中心的存在として活躍を続け、また、京都市立芸術大学や京都造形芸術大学（現京都芸術大学）などで長年指導し、多くの後進を育てた。



同時開催

◆浜田市立石正美術館 開館 25 周年 企画展
「石本正の視点 vol.2 夢と空想
—ぼくの絵をつくりあげるもの—」

【会期】9月12日（土）～
11月23日（月・祝）

【会場】石正美術館
石本正記念展示室

※観覧料は石本正日本画大賞展と共通

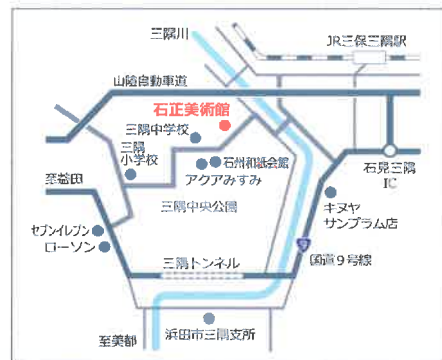


石本正「夢と空想」1966年

SEKISHO ART MUSEUM

石正美術館へのアクセス

- 最寄駅 三保三隅駅から車で5分
- J R山陰本線 浜田駅から三保三隅駅まで列車で20分
- 広島駅から浜田駅まで高速バスで2時間20分
- 山陰自動車道 石見三隅ICから車で3分
- 萩・石見空港から車で30分



〒699-3225 島根県浜田市三隅町古市場 589

TEL 0855-32-4388 FAX 0855-32-4389

<http://www.sekisho-art-museum.jp/>



開催概要

本展は、島根県浜田市出身の日本画家・石本正（1920-2015）の功績を顕彰し、未来への希望に満ちた学生の創作活動を奨励するものです。長きにわたる画業の中で後進の育成にも心を注ぎ、多くの画家を画壇へ送り出してきた石本は「学生の作品には欲が無く気力がある。作家と対象との心の交流があり、見る者に訴えかけてくる」と語り、若い力が生み出す作品の純粋性を愛していました。そんな石本の精神を核として、2011年の美術大学選抜日本画展として開幕し、現在は石本正日本画大賞展と名称を変えながら続けられてきた本展も今年で15回目の開催となります。

石本正日本画大賞展では、全国で日本画を修める大学に推薦を依頼し、石本の画心を受け継ぐ審査員の方々より、優秀な作品に賞を与えて奨学します。今年は全国から28校が参加し、大賞1点、準大賞2点、特別賞2点、奨励賞5点を含む約80点を展示します。大学の垣根を越え一堂に集まった、学生たちの瑞々しい作品をぜひ会場でご鑑賞ください。